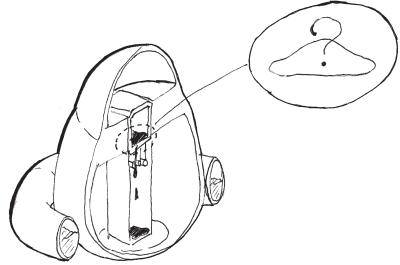




令和元年 5月 8 日 (水)

おもて

デブリって
どう取る？



燃料デブリはどう処理
されるのか。処理時の安全
性・監視体制はどうか。

うら

燃料デブリはどのように処理されるのか。

ロボットや遠隔操作技術を用いて
作業員の安全性を確保するための研究
がされている。

まだ具体的にどのようなロボットで処理
されるかは決まっていない。なぜなら、
デブリには、様々な硬さが存在していて、
そのデブリに最適な方法で取り出さな
くてはならない為、現在廃炉ロボコン
や研究によって試行錯誤の最中である。

デブリがどのようなものか。
デブリ摘出口ボットの開発。

おもて

廃炉後、その土地の利用はできるの？

人は来るのか
放射線量はどうなるか
土地の地下水は安全か
ホットスポットは残るのか

うら

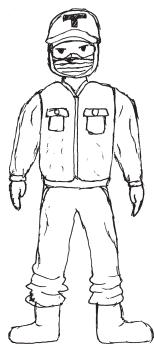
廃炉後の建物を残すのか
Q. その後の土地利用はどうするか

- A. 明確な答えはないが、いくつかの例がある
- ① フランスの博物館のように資料館にする
 - ② チェルノブイリのようにツアーオーを開く
 - ③ ドイツのカルカーハウスのように遊園地を建設する
 - ④ フランスのように、基礎の上に新しい原子力施設を作る
 - ⑤ 東海村の施設は、さら地にした実績もある

人が常にいるような家などにする
ことは難しいが、汚染とうまくつき合う
方法を考えることが大切

おもて

作業員の人は安全なの？



作業員の人はどのくらい被ばくするのか。
又、その放射線被ばくがどういった健康被害を与えるレベルなのか。

うら

廃炉作業中、作業員に放射線
の影響は？

実際に建屋内で作業をする作業員
には多くのルーティンがあります。

・場所ごとの放射線によって
着ていく装備が決まります。

・場所ごとに作業です。時間を
決めていく。

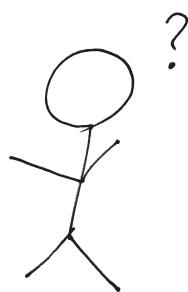
・建屋中に入り口、必ず計測器
を持つ。

・建屋への経路は一方通行
になります。放射線がタバコや
ようにならない。

この他にも手袋いれから迷彩服
であります。作業員の安全は守られて
います。

おもて

なぜ興味を持てないのか？



- ・廃炉について関心・興味持てない
- ・ニュースで流れても専門用語
が多くため分からず
- ・難題だと思ってしまう

うら

廃炉に興味を持たない人々がいるが
どのようにして興味・関心を向けるか
ことができるのか。

倫理観を刺激して、

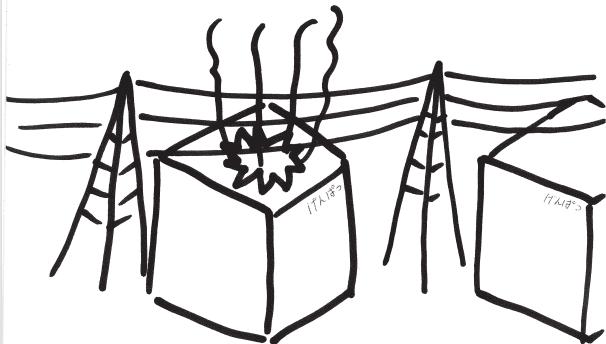
廃炉について具体的な説明を
行い、自分との関係性を気づかせる。

そのためには、うつ病の事故を発生させない
ためには一人一人の意識が關係していることを気づかせる。

廃炉について興味を持ち続ける方
にはならば状況を改善することが大切。

おもて

原発は怖い？



- ・また事故が起こる？
- ・放射線は目に見えない
- ・8年たっても収束していない

うら

過去に事故を起した福島原発、ついでにアップをすこしとくすればいいか？

事故後には原子力規制委員会が設置され、原子力の安全基準は高くなっている。また、万が一に備え、津波による浸水対策や緊急時の冷却機能確保など多様な対策がとられている。

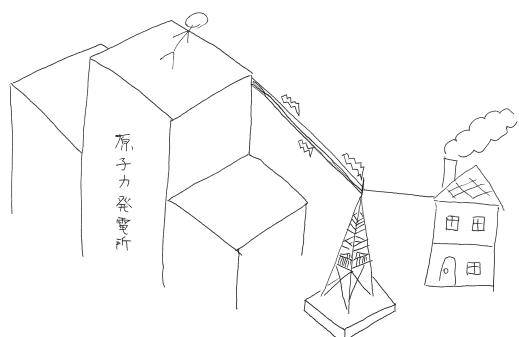
原発についても同様に作業の可視化、現状等を強く発信しなければいけない。TwitterやInstagram、Youtubeなどのアクセスが伸びて、核能カの強いコントロールを利用した対策も有効だと考えう。

福島第一原発の多くの人が手書きでいじり、また今は、姿を見せるへきれいな表情があうと考えう。

SNSや動画投稿による情報の発信をしていく。

おもて

原子力発電所はいるの？



今回の事故がとても危険であることが分かったので、原子力発電所が今後は必要ない。

うら

今回の事故がとても危険であることが分かったが、原子力発電所が今後は必要ない。

現状では、日本の原子力発電所は稼働していないが、電力は足りている。

しかし、電力の安定供給には原子力発電所は必要であると思う。

そのためにも必要かどうかを再検討するため、現在問題になつてゐる廃炉を完了させ、原子力発電に対する不安要素を取り除かなければならぬ。

早急な廃炉事業が大切である。

